

(38) 若宮神社 (わかみやじんじゃ)

住 所：三重県伊賀市老川219番
参拝日：2013年12月4日

主祭神：天押雲命
祭 神：火迦具土之神、速玉男命、大綿津見神、大山祇神、建速須佐之男命



石柱と頌徳碑



鳥 居



手水舎

参道入り口には「祇若宮」の石柱と地域の教育や農業、簡易水道などの推進や若宮神社の御遷座御造営などに尽力した奥永久邦氏の頌徳碑がある。「若宮神社」の扁額を掲出した明神造の石の鳥居をくぐり、十数段の階段を登ると、同じような鳥居があり、境内の正面に阿吽の狛犬に守られた平入造の拝殿がみえる。本殿は春日造で、参龍舎などがある。社叢は豊かでアオツツラフジ、ナワシログミ、クロモジ、シラカシ、ネムノキ、モミジ、フジ、ナンテン、ケヤキ、アラカシ、アオキ、モウソウチク、シラカシ、カヤ、テイカカズラ、サクラ、アカガシ、ヤブニッケイ、ヤブムラサキ、ウラジログシ、コシアブラ、タマミズキ、サカキ、タブノキ、スギ、ヒノキ、イヌシデなどがみられる。全国に「若宮」と付く神社は多いが、多くの場合親子神の御子神を主祭神に祀る神社といわれている。伊賀市川東にある春日神社の本殿は第一から第五神殿まであり、第三神殿に天兒屋根命が祀られ、その御子神である天押雲命は若宮として第五神殿に祀られている。伊賀市においては当若宮神社の主祭神、天押雲命の親神である天兒屋根命を主祭神とする神社（黒瀧神社、春日神社（西山）、春日神社（岩倉））は当神社からはかなり離れた場所にあるが、これらの神社と当神社と何か関連があるのだろうか。

祭祀は例祭が11月3日、他に年間恒例祭儀が16回行われる。

由 緒： （三重県神社誌）

創祀の事情・年代は詳かでないが、古くから老川の産土神として尊崇をあつめていたようで、永禄七年（一五六四）の棟札が残されている。明治三九年七月、地区内字西谷の愛宕神社、山神社二社、字



拝 殿

長谷の水神社、字向の熊野神社・津島神社・山神社を合祀して、同四一年七月、更に種生神社に合祀したが、旧本殿の建物はそのまま放置してあった。昭和三年に至り、老人会の提唱によって社殿保存会を結成し、その維持管理に努めた。この本殿は、極彩色の華麗なもので、桃山様式を伝える春日造一間社である。昭和三〇年六月、明治三九年当時の状況に分祀し、同年一〇月二日に奉祝祭を斎行した。

宝 物：棟札（永禄7年〈1564〉銘・天正18年〈1590〉銘・慶長10年〈1605〉銘など）
国重美に指定されている。